

# 平成26年度事業計画

## ◇ 事業方針

学校給食は、児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るうえで「望ましい食生活を営んでいく能力や態度を育てる」重要な教育活動である。

文部科学省では、学校給食における食物アレルギー対応の充実を図るため、調査研究協力者会議において検討を行っており、更には第2次食育推進基本計画が一部改訂となり、学校給食における国産の食材を使用する割合（食材ベース）について、平成27年度までに80%以上とする新たな目標が追加され、学校給食における地域の農林水産物の安定的な生産・供給体制の構築を推進するとともに、栄養教諭を中心に地域と連携した食育推進体制の充実を図り、学校給食における地産地消や食育を推進することとしている。

また、青森県学校栄養士協議会では、今年度より「すこやか食生活大作戦～子どもの生活習慣病予防のために～」の調査研究を行い、特に児童生徒の肥満傾向の改善を重点目標とし、生活習慣病予防の研究を2年計画で実施することとしている。

このことを踏まえ、公益財団法人青森県学校給食会は、「学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、未来を担う子供たちの健全な心身の育成を図るとともに、学校や地域における食育の推進を支援し、県民の健全な食生活の実践に寄与すること」を目的に掲げており、公益性を発揮した事業を展開し、地場産物加工品の開発、アレルギー対応物資の取り扱いに積極的に取り組むこととしている。

平成25年度の当給食会の運営状況をみると、物資の取扱数量については、学校給食実施人員の逡減に比例するように、年々厳しい状況にあるが、これからも学校給食用物資の安全確保・安定供給を基本としながら、県及び関係機関との連携を強化し、学校給食の普及充実を図り、経営基盤の安定確保に努力するものである。

以上の方針を踏まえ、平成26年度は次の事業を実施する。

## ◇ 主要事業

### I 学校給食用物資の安定供給及び学校給食の安全確保に関する事業

学校給食実施予定人員

学校別	(学校数) 児童生徒数	完全給食	完全給食 実施率	補食給食		ミルク 給食	合計	実施率
				牛乳 おかず	パン・糰 牛乳			
小学校	(310校) 65,159人	(294校) 63,263人	(94.8%) 97.1%	(1校) 131人	(0校) 0人	(15校) 1,765人	(310校) 65,159人 【67,394人】 △2,235人	(100.0%) 100.0%
中学校	(163校) 36,962人	(151校) 35,345人	(92.1%) 95.6%	(1校) 68人	(0校) 0人	(11校) 1,549人	(163校) 36,962人 【37,491人】 △529人	(100.0%) 100.0%
定時制高校 (夜間部)	(12校) 1,130人	(1校) 40人	(8.3%) 3.5%	(0校) 0人	(9校) 114人	(0校) 0人	(10校) 154人 【154人】 0人	(83.3%) 13.6%
特別支援学校	(20校) 1,749人	(15校) 1,453人	(75.0%) 83.1%	(0校) 0人	(0校) 0人	(1校) 50人	(16校) 1,503人 【1,503人】 0人	(80.0%) 86.0%
合計	(505校) 105,000人	(461校) 100,101人	(91.3%) 95.3%	(2校) 199人	(9校) 114人	(27校) 3,364人	(499校) 103,778人 【106,542人】 △2,764人	(98.8%) 98.8%

注：【 】は25年度の数と、その下は26年度との増減

#### 1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

予算 1,294,993 千円

##### (1) 基本物資供給のための事業

予算 714,243 千円

##### ① 学校給食用パン等の供給体制の充実

小麦粉パンに青森県産小麦を、また、米粉パンに青森県産小麦、青森県産米を取り入れ、県産品の消費拡大を図ることとし、「学校給食用小麦粉検討会議」を設置して安定供給の推進に努める。

また、米粉パンの普及拡大のため、米粉の原料代を負担し、小麦粉パンとの価格差の軽減を図り、安定供給に努める。

パン用小麦粉の供給計画

学 校 別	平成26年度（供給計画）			平成25年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	285 校	62,166 人	98,389 K g	290 校	63,846 人	103,615 K g
中 学 校	148	34,682	68,757	148	34,955	72,183
定時制高校 （夜間部）	10	154	1,190	8	154	1,190
特別支援学校	14	1,124	3,164	14	1,124	3,164
合 計	457	98,126	171,500	460	100,079	180,152

内訳 外国産小麦 : 85,750K g 外国産小麦 : 90,076K g  
 県産小麦ゆきちから : 85,750K g 県産小麦ゆきちから : 90,076K g

米粉パン用米粉・小麦粉の供給計画

学 校 別	平成26年度（供給計画）			平成25年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	285 校	62,166 人	23,239 K g	290 校	63,846 人	24,852 K g
中 学 校	148	34,682	17,245	148	34,955	18,422
特別支援学校	14	1,124	326	14	1,124	326
合 計	451	97,972	40,810	452	99,925	43,600

内訳 米 粉 : 20,405K g 米 粉 : 21,800K g  
 県産小麦ゆきちから : 20,405K g 県産小麦ゆきちから : 21,800K g

パン副原料の供給計画

- 脱脂粉乳（3%混入） 6,370K g
- ショートニング（6%混入） 12,739K g
- 砂糖（6%混入） 12,739K g
- グルテン（米粉パン用15%、小麦粉パン用2%混入） 9,552K g

麺用小麦粉の供給計画

- 県産小麦ネバリゴシ 45,000K g

② 学校給食用米穀の供給体制の充実

学校給食用米穀は全て県産米とし、「青森県学校給食用米穀安定供給検討会議」（六者会議）を設置して、安定供給を図るとともに、地産地消の観点から地元産米を供給する。さらに、生産者団体からの助成により、良質低廉な学校給食用米の供給体制の充実に努める。

また、26年度より、弘前市が米飯給食の回数を週1回増やす他、新たに鯨ヶ沢町への供給を開始することにより、米飯給食を実施する36市町村のうち、34市町村へ当給食会経由で供給を行う。

米穀の供給計画

学 校 別	炊飯方式	平成26年度（供給計画）			平成25年度（供給実績見込）		
		学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
		校	人	K g	校	人	K g
小 学 校	自校	129	21,567	262,310	129	21,882	238,154
	委託	160	40,285	325,211	164	41,648	335,891
	計	289	61,852	587,521	293	63,530	574,045
中 学 校	自校	71	11,803	200,462	71	11,724	180,614
	委託	76	22,663	284,688	76	22,985	290,291
	計	147	34,466	485,150	147	34,709	470,905
定時制高校（夜間部）	自校	1	40	440	1	40	440
	委託	1	14	112	1	14	112
	計	2	54	552	2	54	552
特別支援学校	自校	15	1,453	26,612	15	1,453	26,612
合 計	自校	216	34,863	489,824	216	35,099	445,820
	委託	237	62,962	610,011	241	64,647	626,294
	計	453	97,825	1,099,835	457	99,746	1,072,114

玄米 : (20,301 俵)

玄米 : (19,788 俵)

③ 学校給食用パン品質検査の実施

学校給食用パンについて、10月と3月の年2回、品質調査会を県教育委員会等の協力のもとに実施し、品質の向上を図り、学校給食の充実に努める。

④ 学校給食用パン製造技術講習会の開催

学校給食用パンに青森県産品を取り入れた商品の開発に取り組むこととし、加工技術の向上と衛生管理の徹底を図ることを目的に製造技術講習会を開催し、学校給食の食事内容の多様化と地産地消の推進に努める。

⑤ 牛乳代金の請求及び配分

牛乳代金配分機関として、牛乳代金の回収及び牛乳供給業者への支払いに係る業務を一元的に処理し、市町村教育委員会、牛乳供給業者の事務負担の軽減を図り、供給価格の安定に努める。

牛乳の供給計画

(1人当たり飲用200cc)

学 校 別	平成26年度（供給計画）			平成25年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
	校	人	K l	校	人	K l
小 学 校	310	65,159	2,492	316	67,394	2,555
中 学 校	163	36,962	1,429	164	37,491	1,466
定時制高校（夜間部）	10	154	5	8	154	5
特別支援学校	16	1,503	76	16	1,503	76
合 計	499	103,778	4,002	504	106,542	4,102

(20,010 千本)

(20,510 千本)

(2) 一般物資供給のための事業

予算 580,750 千円

① 物資委員会の開催

県教育委員会、県学校給食センター連絡協議会、県学校栄養士協議会及び各地区連絡協議会の代表で組織する物資委員会を年3回開催し、価格・添加物等について協議を行い、安全で低廉な物資を公平・公正に選定する。

また、製造工場の視察により当給食会取扱物資の安全面、衛生面等の確認を行う。

② 物資展示会の開催

当給食会で取扱っている様々な学校給食用物資の安全性・品質等について理解をいただき、学校給食内容の充実を図ることを目的に「物資展示会」を開催する。

事業名	期日	開催地	摘要
学校給食会物資総合展示会	7月25日(金)	青森市 (県社教センター)	出展メーカー 30社程度

③ 学校給食用物資価格だよりの作成

当給食会取扱物資の価格、栄養価及びアレルギー物質等を明示した「学校給食用物資価格だより」を作成し、関係機関へ配布し、物資の理解を図る。

また、価格を公表していることにより、民間事業者の物資価格の指標となり、価格が抑制され保護者負担の軽減につなげる。

④ 一般物資供給体制の充実

ア 巡回訪問の実施

学校給食実施校等を計画的に訪問し、取扱物資の安全性・品質等について情報提供を行うとともに、取扱物資に対する要望を伺い、連携の強化に努める。

イ 地場産品の取扱い

学校給食に「生きた教材」として、青森県の特産品(りんご・ほたて・牛肉・長いも等)が活用されるよう、県農林水産部、農協、漁連等と連携を図り、地場産品の商品開発に努める。

青森県農林水産部では「攻めの農林水産業」の取組方針の中に、学校給食における県産品の利用促進に学校給食県産食材消費拡大事業を掲げ、県産冷凍カット野菜を開発加工品としている。当給食会では、平成24年度より農協・生産者団体等の協力をいただき、「ほうれん草」、「小松菜」、「ブロッコリー」、「かぼちゃ」、「トマト」、「ごぼう」、「アスパラ」、「カリフラワー」の加工品の開発に努めている。

平成26年度は、「ほうれん草」等の加工数量の増加を図るとともに、新たに「いんげん」、「ピーマン」、「じゃがいも」等について、加工品の開発に取り組むこととしている。

また、県農林水産部による学校給食用県産食材消費拡大事業における水産加工品の開発については、24年度は「イカ」、「イワシ」、25年度は「サケ」の加工品の開発を行った。26年度も引き続き、水産加工品の開発に取り組むこととしている。

なお、当給食会では、平成25年度より地場産物活用推進検討会議を設け、物資委員会で選定された素材商品について、献立レシピを作成して頂き、学校給食に活用できるよう積極的に取り組みを進めている。

## ウ 一般物資仕入計画

学校等の要請に基づき物資の取り扱いを行い、安定供給を欠かすことのないよう、次のとおり一般物資の仕入を計画するものである。

### 一般物資仕入計画

分類別	商品名	平成26年度 (仕入計画)	平成25年度 (仕入実績見込)
穀類	焼きおにぎり(県産米) 外	千円 9,116	千円 9,688
いも及びでんぷん類	味付とろろ 外	8,987	9,551
豆類	県産冷凍豆腐 外	8,320	8,842
種実類	アーモンド 外	1,167	1,240
野菜類	県産冷凍小松菜 外	74,880	79,575
果実類	カットりんご 外	45,612	48,472
きのこ類	初雪たけ 外	20,905	22,216
藻類	つるあらめ昆布漬 外	11,305	12,013
魚介類	八戸産さば味噌柔らか煮 外	105,043	111,629
肉類	県産牛肉 外	49,635	52,747
卵類	ほたて入り厚焼玉子 外	13,944	14,818
乳類	ヨーグルト 外	19,059	20,254
油脂類	サラダ油 外	2,580	2,742
菓子類	あおもりぷりん 外	42,998	45,694
し好飲料類	天然麦茶 外	330	351
調味料及び香辛料類	カルシウム強化味噌 外	30,147	32,037
調理加工食品類	アピオス&牛肉コロケ 外	69,810	74,187
パン添加物類	ゼネラルレクラークジャム 外	4,489	4,770
ふりかけ類	はいがふりかけ 外	1,598	1,698
ごはんの素類	帆立御飯の素 外	7,447	7,914
その他(添加物類)	アーモンドカル 外	7,354	7,815
洗剤・その他	除菌マイクレール 外	2,961	3,146
パン包装資材	フィルム	733	779
合計		538,420	572,178

## 2 学校給食の安全確保のための事業

予算 1,806 千円

学校給食用物資の安全を確認するため品質検査を行うとともに、学校給食委託加工工場への立入検査、更には県・市町村教育委員会との連携を図り、食中毒の回避や関係者の意識、知識の向上を図るための講習会を開催する等、学校給食の安全確保に努める。

### (1) 学校給食用物資の安全性を確保するための食品検査等の実施

予算 804 千円

#### ① 当給食会取扱物資の食品検査の実施

当給食会の食品検査室で定期的に食品検査（一般生菌、大腸菌群及び大腸菌、黄色ブドウ球菌）を実施し、取扱物資の安全性・品質等について確認する。

また、給食センター等から依頼のあった学校給食用物資についても検査確認を実施することとする。

#### ② 当給食会取扱物資の放射能検査の実施

当給食会取扱物資が放射能に汚染されていないことを確認するため、放射線測定用サーベイメータにより、物資の納入時に検査を実施している。

また、青森県教育委員会が実施する「青森県学校給食検査整備事業」に基づき、放射線測定器の貸与を受け、当給食会取扱物資について週5品程度、及び特別支援学校等が希望する学校給食用食材の放射性物質検査を実施する。

#### ③ 残留農薬等の検査委託の実施

当給食会取扱物資について、外部機関へ理化学検査（残留農薬及び有機リン系）を委託し、安全性・品質等について確認する。

#### ④ 取引業者からの細菌検査表の提出

当給食会取引業者から提出された取扱物資の細菌検査表に基づき、安全性・品質等について確認する。

#### ⑤ 学校給食委託加工工場の衛生管理の指導、立入検査の実施

学校給食用パン・米飯委託加工工場に示している「衛生管理マニュアル」をもとに、衛生管理の指導を行うほか、定期的に拭取り調査等の立入検査を実施し、衛生管理に対する意識の向上に努める。

### (2) 学校給食施設の衛生管理の支援

予算 1,002 千円

#### ① 学校給食施設の拭取り検査の実施

学校給食施設の細菌検査・ATP（汚れの度合い）検査を実施し、その結果を報告するとともに、検査実施報告会を開催し、学校給食関係者の衛生管理に対する意識の向上を図る。

また、調理従事員等の手洗い方法を確認するため、新たに「手洗いチェッカー」を購入し、検査を行う。

#### ② 学校給食用検査器材の貸出

学校給食施設における、食品検査や衛生検査を実施するため、検査器材の貸出を行う。また、検査器材の貸出用として「手洗いチェッカー」の貸出しを行う。

## II 学校給食の普及充実及び食育の支援に関する事業

### 1 学校給食の普及充実のための事業

予算 5,924 千円

学校給食法の趣旨に沿って学校給食が果たすべき目標を達成できるよう、学校給食実施主体者である県・市町村教育委員会との連携を図り、学校給食関係者の意識向上や専門性を高めるための研修会等の開催や学校給食に関する器材等の貸与を行う。

#### (1) 研修会及び調理講習会の開催

予算 749 千円

事業名	期日	開催地	摘要
学校給食センター所長研修会並びに栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会	7月25日(金)	青森市 (県社教センター)	給食会主催 県教委・センター連協・学校 栄養士協共催
学校給食調理講習会	7月下旬	青森市 (県学給)	東郡地区連絡協議会主催
調理従事員衛生管理講習会	8月5日(火)	青森市 (県社教センター)	県教委主催 センター連協・給食会共催
物資展示会・試食懇談会	8月7日(木)	むつ市 (むつ来さまい館)	下北地区連絡協議会主催
学校給食献立コンクール	11月15日(土)	青森市 (県学給)	県教委・給食会主催 センター連協・学校栄養士協 共催
栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会	12月下旬	未定	県学校栄養士協議会主催 給食会共催
学校栄養士協議会調理講習会	2月下旬	青森市 (県学給)	県学校栄養士協議会主催 給食会共催

#### (2) 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成

予算 1,423 千円

##### ① 研究大会に対する負担金

- 青森県学校保健・安全・給食研究大会【開催地：鱸ヶ沢町(11月12日(水))】

##### ② 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成

- 青森県学校給食センター連絡協議会
- 青森県学校栄養士協議会
- 地区学校給食連絡協議会(9地区)

#### (3) 各種大会等出席者への助成

予算 1,794 千円

事業名	期日	開催地	摘要
食の安全に関する調理員講習会	8月上旬	東京都	派遣者 調理員 3名
第55回全国栄養教諭 ・学校栄養職員研究大会	7月31日(木) ～8月1日(金)	福井県福井市	派遣者 栄養職員 3名
第65回 全国学校給食研究協議大会	11月20日(木) ～21日(金)	山口県山口市	派遣者 学校給食関係者 8名



(4) 学校給食に関する器材等の貸出 予算 1,737 千円

① 学校給食業務支援コンピュータソフトの貸与

栄養価計算や食のバランスなど児童生徒の栄養所要量の基準を管理するため、県内全ての栄養教諭等に「学校給食管理システム」を無償貸与し、重要な職務を支援するとともに、事務量の大幅な軽減に寄与する。(延べ83ヶ所)

平成26年7月をもってリース期間満了となるため、平成26年8月に新システムに更新する。

② 冷凍庫の貸与

学校給食用物資の衛生管理に資するため、冷凍庫(600ℓ 又は 1,300ℓ (5ヶ所対象))を無償で貸与し、児童生徒に安全な学校給食を提供できるように支援する。

③ バイキング給食用食器具の貸出

子どもたちに正しい食習慣を身に付けさせ、豊かで潤いのある食環境づくりを醸成し、学校給食の充実に寄与することを目的に、盛り付け用食器(大皿等)の貸出しを行う。

(5) 学校給食に関する情報提供 予算 221 千円

① ホームページ (<http://www.aogk.or.jp>) の充実

- ・ 学校給食会の概要、取扱物資の放射能検査の公表
- ・ 財務内容等の公告及び公開
- ・ センター連絡協議会、学校栄養士協議会、地区連絡協議会の事業内容等

② 学校給食情報の提供

- ・ 広報「ASLニュース」、ちょっと勉強室、商品案内等(毎月発行)の充実を図る。

2 食育の支援に関する事業 予算 6,045 千円

(1) 食に関する指導教材の貸出 予算 145 千円

学校給食に関する食育活動の一環として、授業への参画や個別指導、家庭・地域との連携事業等を行うための参考資料として、学校・食育関係団体等に貸出を行う。

- ・ 県産品フードモデル(農水産物36種類)の貸出
- ・ 食事バランスガイド モデルセットの貸出
- ・ DVD、ビデオテープ、紙芝居、図書等の貸出

(2) 食育活動に対する助成事業 予算 3,250 千円

① 学校給食関係団体を実施する食育活動に対する助成事業

学校給食関係団体が、食育活動を通して児童生徒の正しい食習慣と健全な発達を図るための事業に対し、経費の一部を助成し食育推進の支援を行う。(5団体対象)

② **P T Aが実施する食育活動に対する助成事業**

食育推進事業の一環として、P T Aが食育活動を実践するための事業に対し、経費の一部を助成し家庭の食生活の質的向上を図る。

これまで、「地産地消」をテーマにしていたが、「減塩」、「野菜摂取」もテーマに加え、食育推進の支援を行う。（70団体対象）

(3) **学校給食献立コンクールの開催**

**予算 487 千円**

地場産物を活用した食に関する指導の充実、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるとともに、学校給食献立の質的向上を図るため、小・中学校並びに特別支援学校の児童生徒と栄養教諭・学校栄養職員及び調理従事員による学校給食献立コンクールを開催し、食育推進の支援を行う。

また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるよう、当給食会取引メーカーの協力をいただき、商品開発の検討を行う。

(4) **青森県産農林水産物カレンダーの配布**

**予算 2,163 千円**

子どもたちが実感を持って地場産物への理解を深め、県産品の愛用精神を育むとともに、食への感謝の念が醸成されるよう、青森県産農林水産物（地産地消）カレンダーを県内学校給食実施校の全学級に配布し、食育推進の支援を行う。

## ◇ 管 理 業 務

### 1 業務運営費の抑制

コンピュータによる物資販売管理システムと財務管理システムを構築し、内部事務の合理化を図る。また、業務運営費の抑制として、消耗品費及び印刷製本費等物件費の節減に努め、収益率の向上を図る。

### 2 施設・設備の保守について

当給食会の施設設備は、設置32年が経過しているため、保守点検に努め、早期の修繕を行い、将来的に施設等を有効に活用することとしている。

## ◇ 平成26年度における学校給食会主催事業等

### 1 学校給食会主催事業

No.	事業名	期 日	開催地
1	監査会	5 月	青森市（県学給）
2	理事会	6 月 10 月 3 月	青森市
3	評議員会	6 月 3 月	青森市
4	物資委員会	6 月 11 月 2 月	青森市（県学給） 青森市（県学給） 青森市（県学給）
5	学校給食用パン製造技術講習会	7 月	青森市（赤田パン）
6	学校給食センター所長研修会並びに栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会及び物資総合展示会	7月25日（金）	青森市
7	学校給食用パン品質調査会	10 月 3 月	青森市（県学給）
8	物資委員会工場視察	10 月	未 定
9	学校給食献立コンクール	11月15日（土）	青森市（県学給）
10	地区連絡協議会代表者会議	2 月	青森市
11	北海道・東北ブロック物資共同購入委員会	2 月	青森市（県学給）
12	とう精工場長会議	3 月	青森市

## 2 全国学校給食会連合会、北海道・東北ブロック学校給食会主催事業

No.	事業名	期日	開催地
1	北海道・東北ブロック常勤役員会議	5月27日(火) 9月 12月 2月	福島県 北海道 福島県 東京都
2	北海道・東北ブロック学校給食研究協議会	5月28日(水)	福島県
3	全給連定例総会	6月20日(金) 2月	東京都
4	第9回食育推進全国大会	6月21日(土) ～22日(日)	長野県
5	北海道・東北ブロック物資担当者研修会	7月	山形県
6	全給連初任者研修会	7月17日(木) ～18日(金)	東京都
7	第55回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	7月31日(木) ～8月1日(金)	福井県
8	北海道・東北ブロック総務・衛生・食育担当者研修会	8月	宮城県
9	全給連営業力アップ研修会	9月18日(木) ～19日(金)	東京都
10	全給連事務局長・課長クラスセミナー	10月7日(火) ～8日(水)	東京都
11	北海道・東北ブロック物資共同購入委員会	10月	福島県
12	全国学校給食振興期成会	10月	東京都
14	全給連経営者セミナー	11月11日(火) ～12日(水)	東京都
15	第65回全国学校給食研究協議大会	11月20日(木) ～21日(金)	山口県

## 3 青森県学校給食センター連絡協議会主催事業（事務局：給食会）

No.	事業名	期日	開催地
1	定例総会及び研究協議会	5月	青森市
2	学校給食センター所長研修会	7月25日(金)	青森市 (県社教センター)
3	学校給食センター所長会議	1月	青森市

【別表】

小・中学校 児童・生徒の推移

(単位：人)

年 度	60	元	5	10	15	20
小 学 校	142,919	126,502	114,467	96,646	88,111	78,983
中 学 校	76,793	71,011	63,808	57,297	46,471	43,348
合 計	219,712	197,513	178,275	153,943	134,582	122,331
増 減	0	-22,199	-19,238	-24,332	-19,361	-12,251
増 減 率	0	-10.10%	-9.74%	-13.65%	-12.58%	-9.10%

年 度	25	26	27	28	29	30
小 学 校	67,394	65,159	63,210	61,391	60,251	59,454
中 学 校	38,452	36,962	36,398	35,318	34,285	32,579
合 計	105,846	102,121	99,608	96,709	94,536	92,033
増 減	-16,485	-3,725	-2,513	-2,899	-2,173	-2,503
増 減 率	-13.48%	-3.52%	-2.46%	-2.91%	-2.25%	-2.65%

